

友好の輪

日野町国際親善協会 広報
Hino International Goodwill Association

(1月20日から3月10日、全5回)
韓国語講座を行いました。

恒例となっています、会員の馬場平三郎さん講師による韓国語講座をわたむきホール虹において行いました。全5回の日程で韓国語の基礎を学ぶ内容として、23名が受講されました。

受講生はご夫婦や親子で参加された方、過去にも参加したことがある方などさまざま。町外から「近くに講座がない」とのことで申し込みいただいた方も受け入れました。

学習はもちろん、韓国のお菓子や馬場先生特製のチヂミを食べたり、韓流ドラマや韓国で流行っている歌のビデオを見て学んだりと楽しく身につく内容でした。また、韓国からの留学生の鄭守京^{ジョン スキョン}さんを特別講師としてお招きし、暮らしや人々のことなど、韓国人の方が語るありのままの韓国をお話いただきました。



(3月10日から3月18日の期間 来日)
エンブ市使節団をお迎えしました。

日野町町村合併55周年記念式典が3月14日に開催され、これにあわせてブラジル国エンブ市使節団を招請しました。エンブ市長様を団長に5名の方に訪問いただき、式典への出席と、事前に希望のあった日野町内や近隣の環境政策



に関する施設を中心に見学されました。気さくで明るい人柄の市長様は日本、日野町の滞在を

楽しんでおられる様子で、協会が主催した歓迎会も大いに盛り上がりました。

エンブ市使節団（日野町・滋賀県滞在日程）

●3月13日

日野消防署見学 リスタあすなろ見学
保育所あおぞら園見学

●3月14日

綿向神社見学 ブルーメの丘見学
おはぎ作り体験
日野町町村合併55周年記念式典出席
国際親善協会歓迎会出席

●3月15日

日野町役場表敬訪問 日野中学校見学
日野清掃センター見学
湖南中部浄化センター見学 県庁表敬訪問

(3月27日から3月30日の期間 訪問)
恩山別神祭交流使節団を派遣しました。

韓国恩山面で恩山別神祭の大祭が開催されるに当たり、野田団長（会長）をはじめとする5名の使節団を派遣しました。一行は恩山面長様の計らいで手厚い歓迎を受け、歓迎会による関係の方との交流や、現地の見学を余すことなく行ってこられました。また、今後の姉妹都市交流についての意見交換もされました。

韓国式で行われる恩山別神堂の恩山別神祭の様子は、日本式による鬼室神社のお祭と大きな違いがあり、使節団員にとってはそれらの違いを実体験できることはとても新鮮なものでした。



恩山別神祭交流使節団 訪問日程

3月27日（土）

仁川国際空港に到着
ソウル駅からKTX（新幹線）で大田駅へ
恩山面事務所表敬訪問 歓迎会出席

3月28日（日）

地域バレーボール大会観戦
国立扶餘博物館見学 百濟歴史文化館見学
百濟歴史再現団地見学 扶蘇山百花亭見学
恩山別神祭出席

3月29日（月）

恩山中学校表敬訪問 恩山面事務所訪問お別れ
韓国民俗村見学

3月30日（火）

青瓦台見学 大韓民国館見学
西大門刑務所見学 金浦国際空港から帰国

(6月5日)

平成22年度総会を行いました。
～ さらなる国際交流の輪を広げて ～

初夏の爽やかな気候のもと、日野町林業センターにおきまして平成22年度総会を開催しました。

総会では、平成21年度の事業と決算の報告が承認された後、平成22年度事業計画と予算案が提案どおり承認されました。



平成21年度の事業報告および決算報告では、特に、かねてより取り組みを進めてきました日野町・恩山面姉妹都市交流20周年記念事業の集大成の年となり、寄付などの多大なご協力により事業が完了できたことが報告されました。

平成22年度の事業計画では、昨年度は3年に一度の日野中学生の韓国訪問の年でしたが、新型インフルエンザの流行により実施できなかったことから、あらためて今年度を実施することとして計画がされています。

その他、歴史研修会や姉妹都市物産、語学講座など、広く日野町の皆さんに国際交流への啓発事業が行なわれますが、会員の皆様には特典を設けるなど、ご協力に対する還元にも取り組みながら事業を展開していきます。

◎今年度の主な事業内容

- | | | |
|-------|-----|------------------------|
| 平成22年 | 7月 | 姉妹都市歴史研修会 |
| | 8月 | 日野中学生恩山面訪問
使節団派遣 |
| | 10月 | 氏郷まつり“楽市楽座”
姉妹都市物産展 |
| | 10月 | 扶餘郡百濟文化祭訪問
使節団派遣 |
| | 11月 | エンプ市長サッカー大会 |
| 平成22年 | 1月～ | 韓国語講座(5回) |

総会記念講演

「渡来人の足跡に見る東近江地域」

講師：東近江市埋蔵文化財センター
嶋田直人 さん



総会終了後、東近江市埋蔵文化財センターの嶋田直人さんに記念講演をしていただきました。

日野町を含む東近江地域には渡来文化の足跡が数多く残っていますが、

そもそもなぜ多く残っているのか。古墳や建造物などの遺跡、また土質や地形などから見る視点でお話しいただきました。

渡来人により、宗教、思想、学問などの「知識」、そして建築、土木、鍛冶、陶器作りなどの「技術」が伝えられたと言われますが、私たちの地域では、「技術」を中心に渡来文化の恩恵を数多く受けていたことを説明いただきました。日野を含む湖東平野は都との位置関係や資源が豊かなことなどから様々な生産技術や土地開発技術が浸透し、技師にあたる渡来人が定住していったそうです。

特に、古琵琶湖層で粘土が豊富なこと、燃料となる薪炭の確保が容易だったこと、琵琶湖や河川など水が豊かなこと、物流(水上運搬)に適した土地であったことから、焼き物や灌漑技術などが発展し、遺跡でも数多くその痕跡が残っているとのことでした。

渡来人文化の背景を知ることができたと同時に、私たちの暮らす土地の豊かさを再認識することができました。

平成22年度会費にご協力ください。

平成22年度の取り組みを行うに当たりまして、会員の皆様に会費をご依頼申し上げます。納入方法などのくわしいことは別途ご案内します。ご理解をよろしくお願い申し上げます。

(会費の額) 個人会員 二千元
法人会員 五千元



2010年6月 「友好の輪」 No.30

発行：日野町国際親善協会
事務局：日野町役場企画振興課(秘書広報担当)
TEL 0748-52-6550 (有線 5-7783)
FAX 0748-52-2043

